

されている。妊婦はアジュバント添加インフルエンザワクチンのハイリスク者でもある。

#### h. イスラエルではアジュバント添加ワクチンの国民全員への接種の政府決定に医師が反発

イスラエルでは WHO 事務局上層部とイスラエル首相との間に合意が成立し、イスラエル保健省により 2009 年 12 月 31 日までに全イスラエル国民に Focetria か Pandemrix のいずれかのワクチンを接種することになった。しかし、これに対して、イスラエルの医師達から抗議が殺到。このワクチンは EU および米国では生物兵器に分類されている、ドイツ陸軍が毒性の強い物質である水銀とスクワレンを含むワクチンを兵士に接種することを拒否した、スエーデンで少なくとも 5 人が死亡している、ポーランド保健省大臣は安全性が確立しなければポーランドに導入するわけにはいかない言っている、などが理由である。2009 年 11 月 4 日にイスラエルの一医師からエルサレムの小児科教授に宛てられた手紙の論旨は極めて明快であり、よくまとまっているので、以下に要約する。

イスラエル 1 医師の抗議文 2009 年 11 月 4 日

- ① CDC その他の調査機関 (WHO のことか) の発表は事実を歪曲している。他の基礎疾患による多くの死亡を A(H1N1)2009 による死亡例に含めている。相当数の H1N1 の症例は確定診断を受けていない。H1N1ウイルス感染を心配している患者が医師に電話したものまで含まれる。
- ② A(H1N1)2009ウイルスの病毒性は低い。A(H1N1)2009 感染症状は例年の季節性インフルエンザよりはるかに軽い。致命率も例年の季節性インフルエンザと比較して低い。
- ③ 南半球の冬の流行は何事もなく過ぎた。米国の流行のピークも過ぎた。
- ④ アジュバントもチメロサールも含まないワクチンが入手可能である。25万人のドイ兵士が受けたのはこのようなワクチンであった。
- ⑤ スクワレンは強い神経毒性を有し、重症の自己免疫性疾患を起こす。投与された人を死に至らしめることもある。
- ⑥ 米兵は 1991 年に anthrax ワクチン接種を受けた。Focetria と Pandemrix には anthrax ワクチンの 50 万倍から数 100 万倍のスクワレンが含まれている。1991 年米兵は anthrax ワクチン接種を受けて湾岸戦争症候群を起こした。数 10 万人の米兵が重症に陥り、数千人が死亡した。

- ⑦ 1976 年の米国におけるワクチネーションキャンペーンの結果ギラン・バレー症候群が多発した。不治の後遺症が残った者もある。
- ⑧ Pandemrix は小児について臨床試験による安全性が確立されていないことから、スイスでは 18 歳以下の小児には使われない。
- ⑨ Focetria の臨床試験は市販品を含めて 132 人を対象としたものがあるだけである。
- ⑩ スクワレンとポリソルベート 80 (Tween 80 ともいう。oil in water アジュバントに使用されている界面活性剤) を含む溶液は強力な不妊効果を発揮する。WHO の科学者が人口を減らすために不妊にするワクチンの研究をした際に明らかになった。このようなものを含むワクチンをイスラエルの若年者に使用するわけにはいかない。
- ⑪ わが国の国民はヨーロッパその他の国々や製薬会社のモルモットではない。

抗議の手紙の最後では、Pandemrix の小児への使用をキャンセルし、Focetria の成人への使用を中止することを提言。保健省の決定は不必要に国民に危険を与えるものであると糾弾した<sup>87)</sup>。

#### 15. 米国ワクチン事情—米国におけるアジュバント無不活化インフルエンザ HA ワクチン<単価ワクチン>と弱毒生インフルエンザワクチン A(H1N1)2009<単価ワクチン>の安全性についてと余剰ワクチン問題発生について

- a. アジュバント無不活化インフルエンザ A(H1N1)2009<単価ワクチン><sup>88,89)</sup>  
2009 年 12 月 15 日 米国ではフランス サノフィパスツール社製アジュバント無不活化インフルエンザ A(H1N1)2009<単価ワクチン> 小児 (6 ~ 35 齢) 用 0.25mL pre-filled syringe 入りワクチン 4 ロット (80 万回接種分) を市販後に力価が基準以下に低下したことを理由に回収した。それも基準をわずかに下回っただけであるから、効果は期待できるという説明<sup>89)</sup>。米国に政府あるいはメーカーがワクチンの市販後に各ロットの力価を測定するシステムがあるのか? 回収されたのが小児用であったのが気になる。回収は不可解である。
- b. 弱毒生インフルエンザワクチン A(H1N1)2009<単価ワクチン>噴霧型<sup>88,90,91)</sup>  
米国では、弱毒生インフルエンザワクチン A(H1N1)2009<単価ワクチン>噴霧型 (商品名 FluMist, 製薬会社 MedImmune 社) が 1 億 9